

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月30日

計画の名称	宇都宮市における安全で快適な緑の保全と創出（第三期）																					
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当		○								
交付対象	宇都宮市																					
計画の目標	安全・快適で緑豊かな都市空間の実現に向け、市民が身近な自然とふれあい、憩える環境づくりを進めるため、緑地および樹林地の保全・育成を図る。																					
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		1,084		A	1,084		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）		0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2年	R4年	R6年
1	R6年までに、市民一人当たりの都市公園面積を10.8㎡／人から11.4㎡／人（R6）に増加させる。 市民一人当たりの都市公園面積を算出する。 市民一人当たりの都市公園面積＝供用を開始した都市公園面積／市人口	11㎡／人	11㎡／人	11㎡／人
2	鶴田沼緑地の特徴である、中間湿原環境に生息する中間湿原指標種（植物）の確認された種数を現状値以上確保する 調査により確認された中間湿原指標種（植物）の種数を算出する。（R5年：8種）	8種	種	8種

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	宇都宮市	直接	宇都宮市	-	-	都市公園事業（鶴田沼緑地）	緑地保全 A=224,000㎡	宇都宮市	■	■	■	■	■	1,084		-
											小計						1,084		
											合計						1,084		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事業策定主体（宇都宮市景観みどり課）にて評価を実施

事後評価の実施時期

令和7年度

公表の方法

宇都宮市HPにおいて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 市民一人あたりの都市公園の面積が増加し、美しく潤いのある都市空間と市民に親しまれる魅力ある緑を創出することができた。
- ・ 鶴田沼緑地の整備を進めたことにより、中間湿原環境に生育する植物が保全され、生物多様性の確保に資することができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

市街化区域に残る貴重な緑の保全・活用を図るため、引き続き用地取得や緑地整備を行い、市民が身近に自然と触れ合える魅力ある緑の創出を目指す。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	11㎡ / 人	現在整備中である本事業以外に，新たに供用開始した公園が増加した一方で， 人口減少傾向が当初の推計よりも大きかったことから，目標を上回った。（実績値：11.6㎡ / 人）
	最 終 実績値	12㎡ / 人	
2			
	最 終 目標値	8種	
	最 終 実績値	8種	